

もりおか ゼロカーボン2050 ～もっと面白いデコ活!～

報告書

(令和6年度開催)



MORIOKA ZERO CARBON 2050

MORIOKA ZERO CARBON 2050

1. 開催趣旨

清らかな水と豊かな緑に恵まれたまち、もりおかを次の世代に引継ぐため、盛岡市環境基本計画のスローガン「未来へとみんなが築く、自然と“わ”になるまち“もりおか”」のもと、市民が環境に配慮した「エコライフ」への意識変革の契機となる事例や取組みなどの情報発信を通じた周知啓発の場としてイベントを開催します。

2. メインテーマ

もりおかゼロカーボン2050 ～もって面白いデコ活！～

盛岡市は、二酸化炭素などの温室効果ガスを2013年度と比較して、2030年度までに51%削減し、さらに、2050年度までに実質ゼロにするため「もりおかゼロカーボン2050行動宣言」を行い、持続可能な未来のために行動することを令和4年6月に宣言しています。また、一般廃棄物処理基本計画で、一人一日当たりの家庭ごみの排出量（資源を除く）を令和8年度までに443gまで減量する数値目標を掲げております。そこで、行動宣言と、新しい言葉である「デコ活」を取り入れたテーマとしました。

*「デコ活」とは、二酸化炭素(CO2)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と、環境に良いエコ(Eco)を含む「デコ」と活動・生活を組み合わせた新しい言葉で正式名称は「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」

3. 主催

もりおかエコライフ実行委員会・盛岡市ごみ減量資源再利用市民のつどい実行委員会
(構成団体 五十音順)

岩手県環境生活部/“世界につながるまち盛岡”市民会議/玉山地域自治会連絡協議会/盛岡市/
盛岡市きれいなまち推進協議会/盛岡市町内会連合会/盛岡商工会議所/ (一社) 盛岡青年会議所

4. 協賛・出展団体

(1) 協賛団体 27団体

IGRいわて銀河鉄道/アリス(株)/株一条工務店盛岡営業所/岩手県産業資源循環協会県央支部/いわて生活協同組合/エコ協力店いわて/上山製紙(株)/川屋建設(株)/環境学習交流センター/北日本建機工業(株)/(株)サン寿広/(一社)JBRC/シナリー化粧品/(公社)食品容器環境美化協会/スチール缶リサイクル協会/住友林業(株)盛岡支店/ニッコー・ファインメック(株)/日産チェリー-岩手販売(株)/(株)バイオマスレジン北日本/(一社)パソコン3R推進協会/びよんびよん舎/(有)藤原養蜂場/文化企業(株)/(株)ペアレン醸造所/盛岡ガス(株)/ (一社) 盛岡市廃棄物業協会/(協組)盛岡リサイクルセンター

(2) 出展団体 7団体

(株)一条工務店盛岡営業所/エコ協力店いわて/環境学習交流センター/(一社)JBRC/シナリー化粧品/住友林業(株)盛岡支店/(一社)盛岡市廃棄物業協会・北日本建機工業(株)

5. 事業内容

日時 令和6年11月9日(土)～10日(日)

場所 イオンモール盛岡南 (センターコート、さんさ広場、隣接通路、外特設会場)

来場者数 1日目(11/9)…1,921人、2日目(11/10)…2,238人 合計 4,159人

イベント内容・スケジュール

ステージ (センターコート)

11月9日(土)

- 開会
- 下橋中学校 ステージ発表
- 盛岡市子ども科学館
「わくわくサイエンスショー」
- 若生和江さん講演
「地球にやさしい食べ方」
- エコ川柳発表会

11月10日(日)

- 滝沢秀一さん特別講演
「ごみ清掃員芸人と考えるごみ問題」
 - 協賛団体PR タイム
- ◆ステージ脇には、小型家電回収ボックスを設置

体験・紹介・展示ブース(さんさ広場、隣接通路)

11月9日(土)・10日(日)

- 体験ブース(随時)
・ミツロウラップづくり・ミニミニ ツリーづくり
- ・自転車発電・手回し発電
- デコ活に関する展示(11月5日(火)～展示)
- ・デコ活に関するパネル展示
- ・食品ロスに関する市民団体、事業者の取組展示
- ・フードバンクポスト(11月9日(土)～10日(日))
- ・naruみだけの量り売り店、着物リメイク盛岡工房
- 協賛団体展示

外特設会場

- ごみ収集車展示 (機械車、汚泥収集車)

ステージ

11月9日(土)

10:30 **開会** 全体司会 高野 真一郎さん

小枝指好夫実行委員長の「もりおかゼロカーボン2050～もって面白いデコ活！～」の開会宣言に続き、盛岡市の中村副市長から祝辞を頂きました。

11:00～11:30 **下橋中学校によるステージ発表**

下橋中学校で実践している「エコ委員会」と「SHEL(シェル)学習」の活動について発表していただきました。
エコ委員会は、1998年に発足して以来、各教室に紙のリサイクルボックスの設置や節電・節水の意義を校内で共有しながらエコ活動に取り組んでいること、人間とエコロジーを学ぶ総合的な学習の時間であり、学年ごとにテーマを設定しているSHEL学習については、まとめとして作成した「環境CM」が披露されました。
発表者は、吉田緋莉さん、森洸太さん、箱崎敬祐さん、佐藤奈々子さん。



11月9日(土)

13:00~13:30

わくわくサイエンスショー

presented by 盛岡市子ども科学館

盛岡市子ども科学館によるサイエンスショーは、風船を空中に浮かせたり、段ボールで作った空気砲で空気の輪を飛ばしたりと、空気のとサイエンスの面白さを解説しながら、会場を楽しませてくれました。



13:30~14:30

講演「地球にやさしい食べ方」 講師 若生 和江さん

岩手県環境アドバイザーであり、食の匠でもある若生さんからは、食料が生産者から消費者に届くまでの距離を表す「フードマイレージ」を下げるのがエコな活動につながることで、旬の食材を選ぶことで、体と地球にやさしい食べ方ができること、昔から食べられている「郷土料理」の由来や知恵、そして食品ロスを減らすことについて、親しみのある語り口で講演をしていただきました。



15:30~15:45 エコ川柳発表会

盛岡市内の小学4年生を対象に行われている「子どもエコチャレンジ」で募集しているエコに関する川柳から、8つの作品を選んで発表しました。発表作品は、裏表紙に記載しております。

11月10日(日)

11:00~12:00 / 14:00~15:00

特別講演「ごみ清掃員芸人と考えるごみ問題」 講師 滝沢 秀一さん

お笑いコンビ「マシンガンズ」として芸人活動をする傍ら、ごみ収集会社で清掃員として働いている滝沢さんに、午前と午後の2回、ごみに関する様々な問題を講演していただきました。



清掃員として働いて、ごみの量の多さに驚いたとお話された滝沢さんは、「ごみはその人自身を表す」と考えるようになったそう。ごみの出し方やどんなごみを出すか、ごみの量から、その人の生活ぶりや考え方が推し量れるとのこと。また、食品ロスについても、清掃員をされているからこそ見える現状について、笑いを交えて話されました。

13:00~13:30

協賛団体PRタイム

一般社団法人JBRCにステージ上でPRしていただいたほか、司会の高野さんが協賛団体展示ブースを訪問し、インタビューを行いました。



体験ブース 11月9日(土)~10日(日)

ミツロウラップづくり

講師 岩手大学環境マネジメント学生委員会

ミツロウラップは、ミツロウというミツバチの巣を構成するロウを布に染み込ませて作るラップのこと。水洗いして繰り返し使えるので、節約にもなる、地球に優しいエコなラップです。



ミニミニツリーづくり

講師 環境学習交流センター

松ぼっくりをツリーに見立てて、自分だけのクリスマスツリーを作りました。飾りつけには、森の中の木の実も使い、自然を身近に感じられるツリーが出来上がりました。



自転車発電・手回し発電・つみき広場

運営協力 環境学習交流センター



自転車発電

自転車のペダルをこいで発電に挑戦しました。発電に成功すると「わ〜っ」と喜びと驚きの声があがっていました。

手回し発電

気軽に取り組める手回し発電や、うちわでおおぐ発電は、子どもたちに人気がありました。



つみき広場

岩手の間伐材を利用したつみき広場では、木の手触りを感じながらつみきでいろいろな形を作る姿が見られました。



展示・紹介ブース

パネル展示・アンケート 11月5日(火)~10日(日)

メインテーマにもある「デコ活」に関するパネル展示や、食品ロスに関するアンケートを行いました。また、食品ロスについては、市民団体や事業者の取組を紹介しました。

食品ロス展示の近くには、食べきれない食品の寄付が可能なフードバンクポストを設置したほか、ステージ脇には、ノートパソコンや携帯電話などをリサイクルする使用済小型家電ボックスを設置しました。(11月9日(土)~10日(日))



紹介ブース

11月5日(火)~10日(日)

「デコ活」を身近に感じてもらえるような魅力的&環境にやさしいお店を紹介しました。「デコ活」と言われても、どんなことをすれば良いのかわからない、と感じている方に「自分の生活に取り入れられそう」と感じてもらえれば、という願いを込めたブースです。

■ naruみたけの量り売り店



味噌や塩などの身近な調味料をはじめ、チリパウダーなど40種類以上のスパイスのほか、パイナップルやトマト、アーモンドのドライフルーツ、オリーブオイル、ごま油も量り売りをしています。買う際は、容器を持参しても良いですし、有料で貸し出している容器を使用することも可能です。貸し出している容器は、洗って店に返すと返金されます。また、自家製レシピアスパイスの使い方のヒントも店に用意してありますので、お試して使ってみたい!という方にもチャレンジしやすくなっています。

■ 着物リメイク盛岡工房



着なくなった着物を新たな洋服や小物にリメイクしているお店です。思い出の着物を再生することで、さらに愛着がわくのではないのでしょうか。今回お借りした作品は、子供服やドレス、バッグに生まれ変わったもので、中には、リメイクしたとは思えないものも。

ごみ収集車展示 11月9日(土)~10日(日) 屋外展示

展示協力 (一社)盛岡市廃棄物業協会・北日本建機工業(株)

毎日のごみ収集に活躍している機械車と、汚泥などを収集する車を展示しました。普段は、近くで見ることのできない、はたらく車の登場に写真撮影をしたり、車の後部が動く様に感じたりと、多くの人が訪れる人気のコーナーでした。



キーワードラリー 11月9日(土)~10日(日)

各ブースに散りばめられたキーワードラリーには、約100人の方に参加していただきました。なかなかキーワードが見つからず、苦戦する参加者も見られましたが、各ブースをめぐり楽しみながらラリーを楽しんだようです。今年のキーワードは、「もっとデコ活」でした。これを機会に「デコ活」という言葉が広がって、少しでも活動につながれば良いと思います。



協賛団体ブース

11月9日(土)~10日(日)

今年も27の団体に協賛をいただき、そのうち、7つの団体がブースを設置し、クイズやワークショップなどで、それぞれのエコな取組をPRしました。

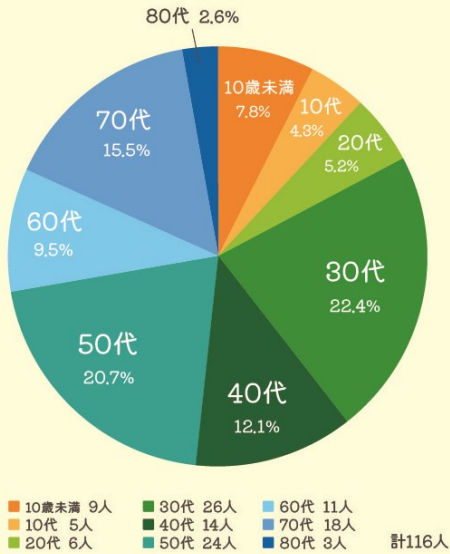


来場者アンケート結果

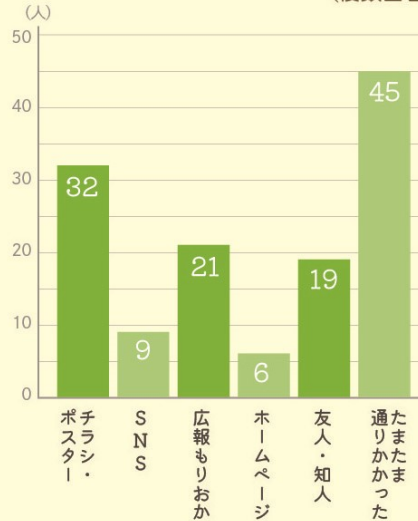
(回答数 116)

1. 来場日を教えてください。 ■ 11月9日(土)・・・32名 ■ 11月10日(日)・・・84名

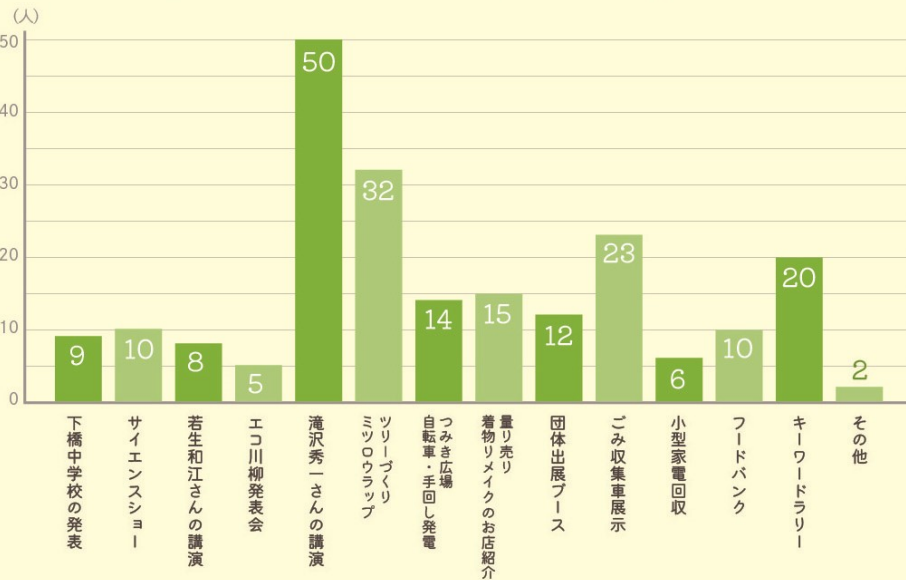
2. 年代を教えてください。



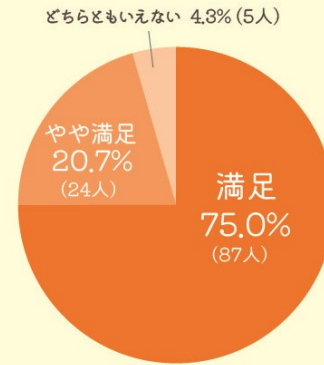
3. このイベントを何でお知りになりましたか。(複数回答可)



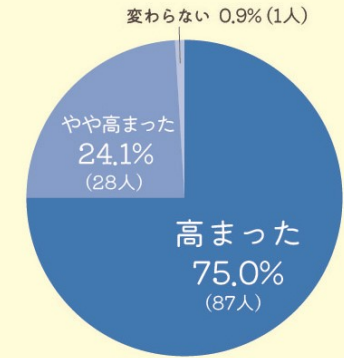
4. 面白かった、興味を持ったコーナーはどれですか。(複数回答可)



5. このイベント全体の満足度を教えてください。



6. このイベントを通じて環境への興味・関心が高まりましたか。



7. イベントへのご意見やご感想をご記入ください。(抜粋)

下橋中のエコ活は良い。エコライフのDVDも上映してはどうか？

中学生の取組や小学生のエコ川柳など、子どもたちの活動が聞けて良かったです。

子供が体験ブースに参加して、エコについて興味が湧いたようだったのでよかったです。

ゴミ収集車を見て満足そうな子供の様子を見れました。

生ごみの取り扱いを考慮直そうと思いました。フードバンクの利用も考えてみます。

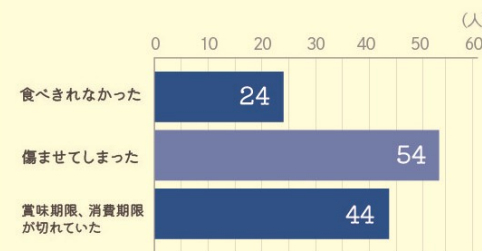
滝沢さんのお話すばらしかったです。ごみのお話でこんなに感動するとは思っていませんでした。「ものには価値を与えるべき」、滝沢さんの言葉が心に残りました。

ミツロウラップを作りました。学生さんが優しく丁寧に教えてくださいました。作業できました。ものを大切にしたいと思いました。

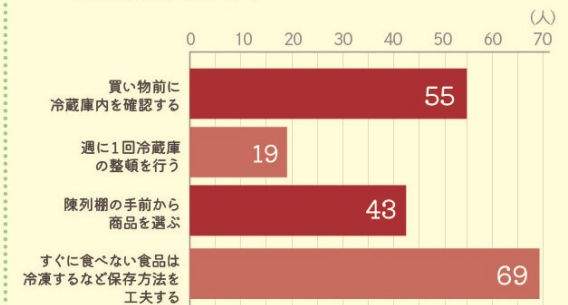
食品ロスに関するアンケート

(複数回答)

1. 食べ物を捨ててしまうときの理由で多いものを教えてください。



2. 家庭で取り組んでいること、または出来そうなことはありますか？





コンセント
抜けばつながら
エコライフ

この行動で1日29gの二酸化炭素を減らすことができます!



夜ふかしは
電気をむだに
せものびず

普段より1時間早く電気を消すと1日235gの二酸化炭素を減らすことができます!



リサイクル
未来につなぐ
小さな手

資源として分別すると1日71gの二酸化炭素を減らすことができます!



あいてるよ
ドアまどふすま
れいぞうこ

冷蔵庫は開けたらすぐに閉めましょう!



完食は
環境まもる
第一歩

この行動で1日39gの二酸化炭素を減らすことができます!



お買い物
いつでもいっしょ
エコバック

エコバックは半年使い続けるとレジ袋より環境にやさしくなります!



あと少し
少しのいしきが
エコになる

省エネ行動に向けた大切な心構えです!



エコいしき
毎日やれば
くせになる

普段からこの意識を取り入れて省エネ行動につなげましょう!